

**上方落語名鑑著者やまだりよこさんを囲む  
クリスマス出版祝賀会**

主賓：演芸ジャーナリスト **やまだりよこさん**

日時：2006年12月24日(日)正午～5時

会場：原田庵 塾生だけのクリスマスイブ

**天満天神繁昌亭+(社)上方落語協会編 やまだりよこ著**  
上方落語家198人！上方落語厳選180本！ 鶴瓶が  
桂春団治に聞く「上方落語と共に60年...」

本書は、上方落語家198人、上方寄席囃子三味線方14人、上方落語家物故者23人を名鑑で紹介し、また上方落語の中から代表的な噺を180本紹介。

名鑑は、著者のやまだりよこさんが、約2000名の噺家さんを精力的に取材しまとめたもの。他に特別企画として、笑福亭鶴瓶、三代目桂春団治師匠に聞く「上方落語とともに60年」も掲載。これは、芸能生活60年を迎えた三代目桂春団治師匠が歩んできた落語家人生と上方落語の戦後60年の歴史を透かしてみようという企画。聞き手の名手・鶴瓶さんが、上方の噺家がわずか数人だった苦難の時代、六代目笑福亭松鶴との思い出、昔の笑いと今の笑い、色、酒、そして芸を聞き出している。「上方落語三百年略史」と「上方落語家系図」も掲載され、落語ファンならもちろんのこと、上方落語のビギナーもぜひ、手元に1冊持っておきたい本。

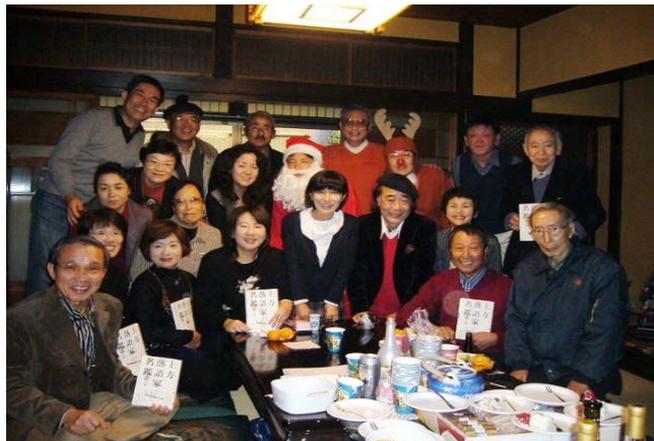


2005年10月の塾塾公開講座「落語会へ行こう！上方落語のコツを知る」の講師、やまだりよこさんが、昨年9月に著書「上方落語家名鑑」を発売！今年の締めくくりに、出版を祝ってクリスマスイブに塾生だけのささやかな祝賀会を開催。



24日の正午に集合！の予定だったが、主賓のやまだりよこさんが原稿の締め追われ、更にJRの車両故障で1時過ぎに会場の原田庵に辿り着いた。お腹

のすいた待ちきれぬメンバーは、大皿の料理と用意したお酒や持参したワインを賞味しはじめた。メインの料理は、塾生で八尾で造園業を営みながら、保護司も務め、塾塾の講座「大阪の犯罪傾向と少年犯罪」でお話いただいた池崎さんの奥様が料理上手で故郷高知のさわち料理をお願いした。清水さんが牡蠣や宮崎の地鶏焼や貝柱酒を、宮本さんがお手製のポテトサラダを持参いただき、他にも持ち込んでくださった食料で机の上は一杯。机の周りに車座に座ったところで、とにかく乾杯の予行練習。そこで、主賓が到着しビールで祝杯をあげたところに、注文していた宅配ピザが届き、熱々を頬張りながら酒の肴に自己紹介。一回りしたところで、宮本さんが用意していただいた文房具のくじ引きで一等と二等がサンタさんとトナカイさん役になってもらおうと大はしゃぎ。北原さんは「それやったら当りと違くて、罰ゲームやがなあ」と戦々恐々。ところが、不思議、節分の赤鬼青鬼の再来。サンタさん役が赤鬼役の水本さんに当たり、トナカイさん役が青鬼役の米川さんに大当たり！！米川さんは別室でお着替え中に、「チャックあげてくれる。おれら同じことを2月にもしてたよなあ・・・」といいながら、やまだりよこさんへのプレゼント～役を担った。サンサさんを模った苺大福饅頭にお祝いのケーキカットやらと約5時間にわたってワイワイガヤガヤと夕方まで食べて飲んでしゃべってのクリスマス出版祝賀会はお開きになり、やまだりよこさんはまた繁昌亭の夜席へと駆け付けていった。



**参加者：**秋山建人・池崎宗男・金山正博・北原祥三・小林伊一・小林和子・清水千代子・杉山英三・田中俊三・中島一・中村京子・中村孝夫・中山恵三・原田彰子・深堀正晶・堀内紀江・水本光洋・宮本麗子・森川千世子・森欣子・森田秀朗・米川俊信

2006年12月11日夜大阪天満宮会館で「上方落語家名鑑」出版祝賀会が開催。塾生の北原祥三さん、下野譲さん・杉山英三さん・中島一さん、原季美子さん・東口恵子さん、堀内紀江さん、宮本麗子さん、森欣子さん、米川俊信さんに、若手浪曲師の菊池まどかさんも出席。桂春之輔師匠の著書の紹介や林家染丸師匠からの花束贈呈があった。そしてお祝いの言葉と花束贈呈を送った桂春團治師匠・桂三枝師匠・寺井天満宮宮司氏に囲まれてやまださんの笑顔。最後は両師匠に囲まれて大阪締めでお開きとなった。精魂込めた5ヶ月に渡っての執筆活動の成果が報われて良かったね。おめでとう！やまだりよこさん、演芸ジャーナリストとして、これからの活躍が楽しみです！

